

鈴木 邦成（すずき くにのり）プロフィール

エコノミスト、文化ファッション大学院大学准教授。日本物流学会理事。日本物流学会、日本国際経済学会、日本E U学会、日本環境共生学会、日本不動産学会、ファッションビジネス学会、日本経営工学会などの正会員。専門は物流論、ロジスティクス論。物流施設などの事業用不動産事業を展開する(株)コマーシャル・アールイー（ジャスダック上場）のシニアディレクター（顧問職）も兼務。物流関連の主な著書に『図解 物流の最新常識』、



『図解 B2Bの最新常識』、『トコトンやさしいSCMの本』、『トコトンやさしい流通の本』、『絵解きすぐわかる物流のしくみ』、『絵解き すぐできる流通在庫の管理・削減』（いずれも日刊工業新聞社）、『はじめての物流100問100答』（明日香出版社）、『勝ち組企業・世界戦略構築の最新常識』（マイクロマガジン社）、『戦略ウエアハウスのキーワード』（ファラオ企画）、『郵政民営化で始まる物流大戦争』（かんき出版）などがある。国際政治経済、国内外物流、ロジスティクス、SCMなどに関するセミナー、講演、ラジオ出演、物流関連の学術論文、寄稿論文なども多数。



新刊著書『はじめての物流100問100答』

発売日：2007年8月10日

著：鈴木 邦成（すずき くにのり） 出版

社：明日香出版社

定価：1,680円（税込）

物流不動産ビジネスの現状と動向も網羅！

近年、さまざまな企業において物流の重要性が高まってきているが、本書では百問百答のかたちをとり、物流についての知識を基本から日々の実務、企業戦略の立場などから多角的かつ多岐に

わたって解説している。実際に筆者がよく出くわす質問や多くの方が疑問に思っている物流に関する基本事項についてくわしく、かつ

わかりやすく説明している。

本書の構成を説明すると、100問100答の形式で、全体が10編に分かれ、第1編「物流の基本編」、第2編「物流業界編」、第3編「物流戦略編」、第4編「物流改善編」、第5編「物流コスト削減編」、第6編「SCM理論と物流情報システム編」、第7編「環境と物流編」、第8編「社会環境の変化と物流編」、第9編「物流ビジネス企業編」第10編「物流実務編」となっている。物流不動産についても第2編「物流業界編」や第9編「物流ビジネス企業編」で最新の動向が取り上げられている。なおどこからでも読み始められる構成となっているので一読されたあとと本書を実務の現場に置き、疑問が生じるたびに辞書的に活用することもできる。